

令和6年度 第二回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

<議事要旨>

■日 時：令和6年11月20日（水）15：00～17：00

■場 所：国営海の中道海浜公園事務所

■主な意見等

1) 国営海の中道海浜公園の利用状況、「本公園の魅力の一体的な情報発信」及び「多様な主体の連携」に関する取り組み進捗の報告

(1) 令和6年度上半期 海の中道海浜公園の利用者数の報告

※特に意見、質問等なし

(2) 「本公園の魅力の一体的な情報発信」及び「多様な主体の連携」に関する取り組み進捗の報告について

- ① 福岡市の市政だよりやメディアに関して、直接会って関係性を深めていくことも広報活動の一環ととらえ、実施していくことでより良い広報になるのではないか。[有識者]
→広報担当者やメディアの記者とよりよい関係性を築けるよう、公園全体で心掛けていく。[園内関係機関]
→市政だよりは、市の各事業担当課から掲載依頼をする決まりがあるのであれば、申し込みの手順は遵守して広報活動を行うべきである。[有識者]
→公園の施設管理者から掲載の依頼があれば、主管の運営課を通して、広報担当に掲載依頼をしている状況である。掲載のニーズがあれば今後も引き続き協議できればと考えている。[福岡市]
- ② 関係機関の連携が盛んになっていることは素晴らしいが、トラブルが発生した際の取り決めなどは、今後どのように管理していくのか、方針や今後の課題があれば補足いただきたい。[有識者]
→現時点では個別で決めている取り決めを、共通のものとして整理し構築していく必要があると感じており、今後、園内関係機関の部会等のなかで整理していきたい。[園内関係機関]
- ③ デジタルマップについて、大変使いやすいと感じた。子ども連れの方などはすべてを徒歩で巡るのは現実的ではないため、今後の機能として、現在地から目的の場所へ移動するときの交通手段の情報が盛り込まれていると、より使いやすくなると思う。[有識者]
→デジタルマップは試行的な運用とともに、アンケートを同時に実施し、概ね好意的な意見や、紙媒体より使いやすいという意見をいただいているが、同時に情報の充実を求める声もある。来年春の本格運用に向けて意見を集約したうえで、情報の充実を図っていきたい。[園内関係機関]
- ④ 多様な主体が連携した結果、どのような効果があったのか。[有識者]
→1つ1つの取組について効果は拾い上げきれしていないが、ナイトドックランについては多くの方が来園され、ドックランの夜間ニーズなどを拾い出せている。こうしたニーズは、今後前向きに検討する材料と考えている。また、イベントは来場者数、参加者数が効果の検証の一つになると思うが、その反面、準備に係る苦労等は見えてきていない。今後、負担を考慮して繰り返し実施できるか、連携

した関係機関で協議しながら、効果と合わせて検証していくことになると考えている[園内関係機関]

- ⑤ 園内関係機関で連携していく取組と外部の団体と連携していく取組について、どのくらいの重み付けで連携を行っているのか。[有識者]

→現時点ではどちらに重きを置くのか決め切れていない。それぞれの連携した取組で、地域や公園に刺激を与えられるのではないかというアイデアを出しなら連携を行っている。[園内関係機関]

2) 各主体における今年度の取り組み状況の報告

(1) 海の中道管理センター

- ⑥ 乗馬やヨガなど海側のプログラムは評判を様々な方から聞いている。この他にもまだ知られていない海中の魅力はあると思っており、そこが伸びしろと感じている。都立公園等では多年草を通じた修景プログラムを行っており、それらを取り入れるのも伸び代かと感じた。実施には宿根草に関するスキルをもつガーデナー育成など新たな植栽管理の技術も必要で、人材育成などの課題もあると思うので、全体で議論していけるとよいと感じている。[有識者]

→現在ガーデナーの取組として、園内の一角を取組の場所として活用している。機会があれば、ご報告させていただく。[園内関係機関]

(2) マリンワールド海の中道

- ⑦ ニッポンバラタナゴやカスミサンショウウオを繁殖させた後は、別の地域に放流して繁殖させるのか。それとも海中内で完結しているのか [有識者]

→自生地から持ってきた個体を公園の敷地内で繁殖させ、生息域外保全の考えで活動を行っている。将来的に生息地にて個体数が著しく減少することがあれば、繁殖させた個体を放流することもあるかもしれないが、現時点では公園内で完結する取り組みである。

なお、希少生物の生息地は民間地に多くあり、制約を設けにくいのが現状である。国営公園内での希少生物の保全は大きな役割であると感じており、今後も公園の自然資産を生かし、公園の強みを強めていきたい。[園内関係機関]

- ⑧ 田植えで得られた収穫物はどうしているか。[有識者]

→成果物に関しては、展示物としてマリンワールド館内に一定期間展示等を行い、糞については細断して水田に戻し翌年の肥料としている。[園内関係機関]

- ⑨ 生き物観察会等の応募率はどの程度なのか。[有識者]

→残念ながら、今現在はそこまで多くの参加がない状況である。今後告知等を工夫しながら参加者を増やしたい。一方で、リピーターとして複数回参加してくださる参加者もいるため、そうした参加者を大事にしていきたい。[園内関係機関]

- ⑩ 昨今、環境教育としてのプログラムが重要視されており、地域の小学校と連携した環境プログラムと

して、今行われているイベントを組み込めないか。[有識者]

→ 今行っている活動を小学校などの授業で使っていただくのが理想ではあるが、小学校の団体の来館はあるものの、環境学習のプログラムとしての連携はできていない。プログラムの内容を含め、今後連携も視野に入れて検討していきたい。[園内関係機関]

(3) ザ・ルイガンズ

⑪ ヨガなどの他のアクティビティと組み合わせてサウナを生かしていく取組や、サウナの活用について考えがあればお聞かせいただきたい。[有識者]

→ サウナは、現在ホテルの浴場に設置しているが、プールの近くにコンテナサウナの設置を想定しており、景色が見えるという点や、カップル向けや、1組限定ということを謳っているため、今後も伸び代があると考えている。また、志賀島でもヨガの取組が行えないか検討中である。[園内関係機関]

(4) マリーナ&テニス

⑫ 気候変化の影響が大きくなっているなかで、来場者の健康管理が課題となるかと思うが、何か対策は行っているのか。[有識者]

→ 九州 UMI アカデミーについては、参加する方の体温を朝から計測いただくとともに、当日の熱中症指数を参考にして、高いようであれば別日に変更する対応を行っている。また、万が一の場合に備えて、イベント保険に加入し、できる限りの万全の体制としている。[園内関係機関]

(5) 青少年海の家

⑬ 中学生の活動体験として、大牟田の中学生が参加されているようだが、福岡市内の中学校にも働きかけを行い、参加していただけたらどうか。[有識者]

→ 福岡市内の中学校も参加していただいているが、予算やコロナ渦での活動の変更により、以前に比べると減少している。一方で、毎年繰り返し来ていただいている中学校から、プログラム自体は好評をいただいている。[園内関係機関]

(6) 海の中道パーク・ツーリズム共同事業体

⑭ シー・ドラグーンの補修を含めた維持管理費用が増えつつある等の課題はないか。[有識者]

→ 維持管理の費用が増加しているということはないが、将来的に利用料金の見直しの検討を行うことを想定している。副次的に駐車場の利用者が増加により、収益力のある施設としていきたい。[園内関係機関]

⑮ ハロウィンの飾りつけが公園のあちこちに設置されているとニュースリリースがあったが、そういったものはどのような関心があったのか。[有識者]

→ P-PFI では飾りつけは行っているものの、積極的に行っているわけではない。[園内関係機関]

→ 管理センターでは過年度から実施して定着しており、9月の終わりから10月にかけて、フラワーミュージアムや動物の森などにフォトスポットを設けたり、AR フレームでの写真撮影、スタンプラリー

一等を行ったりしている。今後もう少し力を入れて取り組みたい。〔園内関係機関〕

(7) 国営海の中道海浜公園事務所

⑩ 駐車場の拡張について国営公園であるため、コスト面での折り合いもあろうかと思うが、利用のない時は緑化されているといいのではないかと考える。〔有識者〕

→緑化も重要と考えているが、ゴールデンウィーク等の混雑時には周辺で大変な渋滞となっていることから、渋滞の緩和等のため、駐車台数を極力確保するよう整備をしており、難しいところである。なお、雨水排水については浸透側溝を設置し、なるべく地下に浸透するよう整備を進めている。〔園内関係機関〕

→ピークに合わせて駐車場は拡張されるが、使われないときも考えると雨水浸透にも配慮しつつ緑化されているほうがいいと感じた。短期的にみると駐車場を拡張することはよいと思うが、公園の中の「みどりの駐車場」ということを意識して、今後何かの機会に議論いただければと思う。〔有識者〕

⑪ マツの育成について、復元に取り組まれているが、生育の度合いはどうか。〔有識者〕

→冬場を中心に風が非常に強い過酷な環境のため、定着するのがなかなか難しいところがある。〔園内関係機関〕

→樹高 50cm 程度の苗木を植えており、植栽後 4~5 年で 2m 程度まで育っている。他のエリアで 10 年ほど経過している松では、数 m まで成長している。補植をしながら取り組んでいる。〔園内関係機関〕

→風対策として土手のような形の通路の裏側で植栽をしていたりすると思うが、そのあたりの定着はどうか。〔有識者〕

→土手の裏側で風をよけられる場所もあるが、静砂垣の傷みがはやくなかなか厳しい状況ではある。そうした中で昨年度も補植を行いながら活動している状況である。〔園内関係機関〕

—以上—